

# 名古屋サロンに参加して

菅原 岡村 普（西本町四丁目出身）

恒例名古屋サロンが今年は十月二日に開催されました。事務局からは和久井会長、運営委員の内藤さん、そして私が東京から参加しました。現地では毎度のことながら尾原ご夫妻が幹事として万全の体制を敷いていたので、事務局から参加と言っても、これといってお役に立つわけでもなく、「こつこお」になりに来たようなものです。ほんと、頭が下がります。

さて私岡村としては二度目の名古屋サロン、仕事の都合で他の二人と別に名古屋入りをした次第ですが、到着してまず和久井会長に電話を。そしたら、隣駅の金山にいらつしやるとのこと。

金山に着くと、太田前会長も一緒にいらつしやっていました。実は、この金山駅コンコースでは、上越の物産展が行われておりました。新潟全体の物産展はあ

ちこちで開催されており、いまや珍しくも何ともありませんが、上越に特化したものはそうはございません。最初聞いたときは「上越のもんだだけで、大丈夫かや」という印象も抱いたのですが、なかなかどうして充実した品揃えです。逆に言えば今までなんでこういうイベントがあまり無かったのか、とさえ思いました。新潟全体のイベントですと、失礼ながら上越の影は薄い。上越単独でやれることがこれで実証された訳ですから、これからは独自イベントも常設店舗も有りでしょう。

話が脱線しました、名古屋サロンに話を戻します。サロンは夕方、いつものメンバー、新しいメンバー織り交ぜて今年もにぎやかに始まりました。会場が貸切でないこともあり、最初の乾杯の後は、各々自由懇親というのがこのスタイ

ル。あつという間に散会の時間になり、来年の再会を誓いながら、家路及び二次会へ流れました。私は翌朝早いこともあり、一人淋しく帰京の途に着きました。二回目の今回も駅周辺しか歩けなかった、いつか名古屋の夜を、と思った次第であります。その時は名古屋の会員さん、よろしくお願いします。



